

グルジア政治・経済 主な出来事

【2014年11月3日～2014年11月9日】

[当地報道をもとに作成]

平成26年11月14日

在グルジア大使館

主な動き

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼アブハジア鉄道をめぐる発言

・アルメニアのメディアが、アラケリヤン・アルメニア運輸次官の「アルメニア運輸省も参加し、(アブハジアを通る)鉄道の復旧に関する協議が秘密裏に行なわれている」との発言を報道。

・7日、ザカレイシヴィリ和解・市民平等担当国務大臣は、「私の知る限り何も行なわれておらず、状況は2年前から何も変わっていない。グルジアはいかなるレベルのいかなる協議にも関わっていない」とコメント。

2. 外 政

▼トルコの国会議長がグルジアを訪問(2日-4日)

・チチュク・トルコ国会議長がグルジアを訪問。3日、ウスパシヴィリ国会議長、ガリバシヴィリ首相と会談。両国の国会間協力や通商・経済関係の活性化について議論。バクー=トビリシ=カルス鉄道のプロジェクトの重要性が強調された。

・4日、ハバゼ・アチャラ自治共和国首班と会談。

▼ウクライナ東部で実施された「選挙」に関する外務省声明(3日)

・グルジア外務省は、2日にウクライナ東部ドネツク・ルハンスク地域で実施された「選挙」は国際法およびウクライナの法律の基本的な原則を完全に無視しており、紛争の平和的な解決を妨げるものであるとする声明を発表。

▼マルグヴェラシヴィリ大統領が第2回国連内陸発展途上国会議に出席(3日-4日)

・ウィーンにて開催された第2回国連内陸発展途上国会議に「マ」大統領が出席。アゼルバイジャン、グルジア、トルコの3カ国による共同のインフラプロジェクトなどを挙げつつグルジアの中継国としての重要性を強調。また、黒海地域に平和と安定をもたらすには、ロシアによるクリミアやアブハジアの「併合」に対する国際社会の関与が必要であると訴えた。

・3日、ヴジャノヴィチ・モンテネグロ大統領と会談。欧州との統合に関するモンテネグロの経験の共有の意義が強調された。「ヴ」モンテネグロ大統領はグルジアのNATO・EU加盟に対する支持を約束。

・4日、ザニエル OSCE 事務総長と会談。グルジアの被占領地域の問題について、「マ」大統領は OSCE の関与を評価しつつ、OSCE ミッションの意義を強調。

・同4日、潘基文国連事務総長と会談。グルジアの国連

との協力などについて議論し、「マ」大統領はグルジアの被占領地域の問題への国連のより深い関与を求めた。

▼ハンガリーの外務・通商相がグルジアを訪問(7日)

・シジャルト・ハンガリー外務・通商相がグルジアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、ベルチャシヴィリ外相代行と政治、経済、文化の分野における両国の協力や被占領地域の状況などについて会談。

3. 内 政

▼国防省・軍関係者の逮捕をめぐる動き

・10月28日に、光ファイバーケーブルの調達に係る入札で Silknet 社に便宜を図り、410万ラリを流用した容疑で国防省・軍関係者5名が逮捕された件に関し、3日、パティアシヴィリ国防次官が参考人として検察による長時間の尋問を受けた。検察は尋問の理由として、Silknet 社との契約に同次官が署名していることと、同次官と Silknet 社の経理部長が「親しい関係である」ことを挙げた。

・ツルキアニ法相は、国防相が不在のときに逮捕が行なわれたことを批判。

・3日夜、ガリバシヴィリ首相とアラサニア国防相が会談。

・4日、検察は2013年に数百名の兵士が食中毒を起こした件に関連して、軍医3名と国営の食料調達会社職員3名の逮捕を発表。

・5日、控訴裁判所は、逮捕された国防省・軍関係者らの保釈の請願を棄却。

▼アラサニア国防相の解任、パンジキゼ外相およびペトリアシヴィリ国務大臣の辞任、連合「グルジアの夢」からの自由民主主義者党の離脱

・4日夕、アラサニア国防相は自由民主主義者党本部で記者会見を開き、最近の国防省・軍関係者の逮捕は「明らかに政治的な動機に基づいている」「これはグルジアの欧州との統合を目指す方針に対する攻撃である」と述べた。

・4日夜、「ガ」首相は「ア」国防相の解任を発表。後任に、ジャネリゼ国家安全保障・危機管理委員会書記を指名した。

・「ア」国防相の解任についての発表後間もなく、ペトリアシヴィリ欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣も辞任する意向を示した。「ペ」国務大臣は「ア」国防相と同じく自由民主主義者党に所属する。

・5日、パンジキゼ外相が記者会見を開き、辞任を表明。「パ」外相は「ア」国防相の義姉。「パ」外相は「グルジアの夢・民主グルジア」党を離党することも発表した。

・「パ」外相はザルカリアニ第一外務次官以下4名の外務次官も同時に辞任すると発表。「ザ」次官は自由民主主義

者党に所属する。

・「ガ」首相は会見を開き、ジャーネリゼ国家安全保障・危機管理委員会書記を新しい国防相に任命。会見で「ガ」首相は、「バ」外相の辞任について記者から尋ねられ、「バ」外相の辞任は予測の範囲内であったとしつつ、「バ」外相が国家ではなく親族に対して連帯を示したことは残念だとコメント。また、グルジアの外交方針に変化はないと強調。自由民主主義者党が与党連合「グルジアの夢」に残るよう希望を述べた。

・ノールランド米大使が国防省にて「ア」前国防相と会談。同会談後、職員に見送られる中、「ア」国防相は同省を後にした。

・「ガ」首相は会見を開き、「前高官らによる無責任な声明は国益を損なうものである」として、グルジア政府は欧州との統合の方針を変わらず追求すると述べた。

・5日午後、与党連合「グルジアの夢」の政治委員会会合が開かれ、イヴァニシヴィリ前首相も出席。途中で退席した「ア」前国防相は、自由民主主義者党は与党連合「グルジアの夢」を離脱すると発表。

・5日夜、ツルキアニ法相が会見を開き、現政府が欧州との統合の方針を追求していることに疑念はなく、法相に留まると発表。（「ツ」法相は自由民主主義者党に所属。）

・ドリゼ・グルジア NATO 代表部大使が辞任を発表。

・ウィーンから帰国したマルグヴェラシヴィリ大統領は会見を開き、「欧州との統合の追求は国民の選択であり、この選択を変更することはできない。しかし、その一方で、個々の政治家がそのためにいかに効率的に取り組んでいるかについて問われることは当然である」として、国会および政府に対し、EU との連合協定と NATO の実質的なパッケージの効率的な実施に関して議論するよう求め、自身も議論に出席すると述べた。

・6日、米国務省は、「ア」国防相および次官らの解任、それに続く「ペ」国務大臣、「バ」外相の辞任について懸念を表明し、グルジア政府に対し、司法制度が政治的な目的で利用されているとの疑念を払拭し、共有する民主的な価値観に忠実であることを示すよう呼びかけるとの声明を発表。

・「ガ」首相は、閣議で、「ア」前国防相について、「与党連合から『裏切り者』がいなくなったのは良いことである」と述べた。また、「ア」前国防相を「軽率かつ愚かで野心的」と評し、国民は「ア」前国防相について今後多くの驚くべき事実を知るだろうと発言。

・ウスパシヴィリ国会議長が会見を開き、欧米との統合を追求するグルジアの方針が脅かされているとの主張は事実ではないと述べた。全ての当事者があまりに性急に行動しすぎたと批判。辞任した3名の大臣のこれまでの働きに感謝を表明。国防省の入札に係る捜査について、検察はこれほど大きな問題を引き起こさずに捜査できたはずであると述べた。また、与党連合からの自由民主

主義者党の離脱は「大きな損失」であるとして、今後も国会内での協力を継続するよう自由主義者党の議員に呼びかけた。また、今回の動きにより、検察が政治的なプロセスに巻き込まれることを防ぐ措置の必要性が明らかになったとして、検事総長および次長の発言を監督する一定の権限を法相に与えることを検討すると述べた。

・辞任すると報じられた4名の外務次官のうち、ザルカリアニ第一外務次官を除く3名の外務次官は、「ガ」首相の慰留により留任することとなった。

・自由民主主義者党に所属する10名の議員のうち、3名が自由民主主義者党を離党し連合「グルジアの夢」に留まることを発表。一方で、「グルジアの夢・民主グルジア党」の議員1名が自由民主主義者党にくら替えした結果、与党連合「グルジアの夢」の国会内の議席数は、過半数に1名足りない75名となった。

▼アラサニア前国防相がイヴァニシヴィリ前首相と会談(6日)

・会談後、「ア」前国防相は、政治情勢に関して率直に意見を交換し、国に害を及ぼすことのないよう政治プロセスを進めなければいけないことで一致したと述べた。

▼イヴァニシヴィリ前首相のインタビュー(8日)

・8日、「イ」前首相が公共放送でのTV番組に登場。

・政治危機の兆候があったが問題は既に解決されたとして、建設的な野党が生まれることは悪いことではないと述べた。最近の政治の動きの背景にはメディアにおける客観的な分析の欠如があったとして、近い将来に自身も出演する政治番組「2030」を始めることについて改めて話した。

・アラサニア前国防相について、国防省・軍関係者の逮捕を政治問題化したとして批判。

・「国は舞台裏から統治されるべきではない」とのマルグヴェラシヴィリ大統領の発言を、根拠に欠け、政府に対して侮辱的であると批判。大統領が、通信サービス事業者の通信記録に対する治安関係者の自由なアクセスの期限を2015年2月まで延長することに拒否権を発動したことを批判。

4. 経 済

▼2014年10月のインフレ率(3日)

・国家統計局が速報値を発表。月間インフレ率は0.3%。食料品・非アルコール飲料の価格が1.0%上昇(野菜12.5%、果物4.4%)。医療費が0.9%上昇。輸送費が1.4%低下。
・年間インフレ率は3.4%。食料品・非アルコール飲料の価格が7.8%上昇(野菜35.6%、果物10.8%、牛乳・チーズ・卵8.6%、油脂4.7%)。医療費が5.6%上昇。

▼世界銀行副総裁がグルジアを訪問(6日)

・ガリバシヴィリ首相がタック世界銀行副総裁と会談。グルジアの投資環境や経済改革の進捗などについて議論。